

桜島の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

桜島の昭和火口（南岳東斜面、標高約800m）で、3日10時55分にごく小規模な噴火が発生しました。昭和火口から噴火が発生したのは、今年（2008年）2月6日以来です。

今後、南岳山頂火口及び昭和火口の周辺に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの火口周辺では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1，5）

本日（4月3日）10時55分に昭和火口からごく小規模な噴火が発生しました。噴煙の高さは火口縁上800mで、南東に流れました。監視カメラによると、火砕流、弾道を描いて飛散する大きな噴石は確認されていません。

昭和火口で噴火が発生したのは2月6日以来です。

・地震や微動の発生状況（図5）

3日09時54分に振幅の大きなB型地震を1回観測しましたが、地震は少ない状態であり、火山性微動は2月7日以降発生していません。

・現地の状況（図2，3，4）

本日、12時40分頃実施した黒神河原での現地調査では、昭和火口から少量（灰白色）で高さ400～500mの噴煙を上げているのを観測しました。

また、有村町付近では現地調査時には降灰が継続しており、少量の火山灰が堆積しているのを確認しました。

※ この資料は気象庁のほか、大隅河川国道事務所、鹿児島大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「25000分の1」地図画像を使用しています（承認番号：平17総使、第503号）。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.htm>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)で閲覧することができます。



図1 桜島 昭和火口で発生した10時55分のごく小規模な噴火(11時16分撮影)
(大隅河川国道事務所提供 昭和火口の東約3kmの監視カメラ)



図2 桜島 黒神河原から見た昭和火口噴火の様子(12時40分撮影)



図3 桜島の有村町付近で観測した降灰の状況（13時15分撮影）



図4 桜島 降灰の範囲

・ 図中の赤丸は図3の降灰を観測した場所を示す。

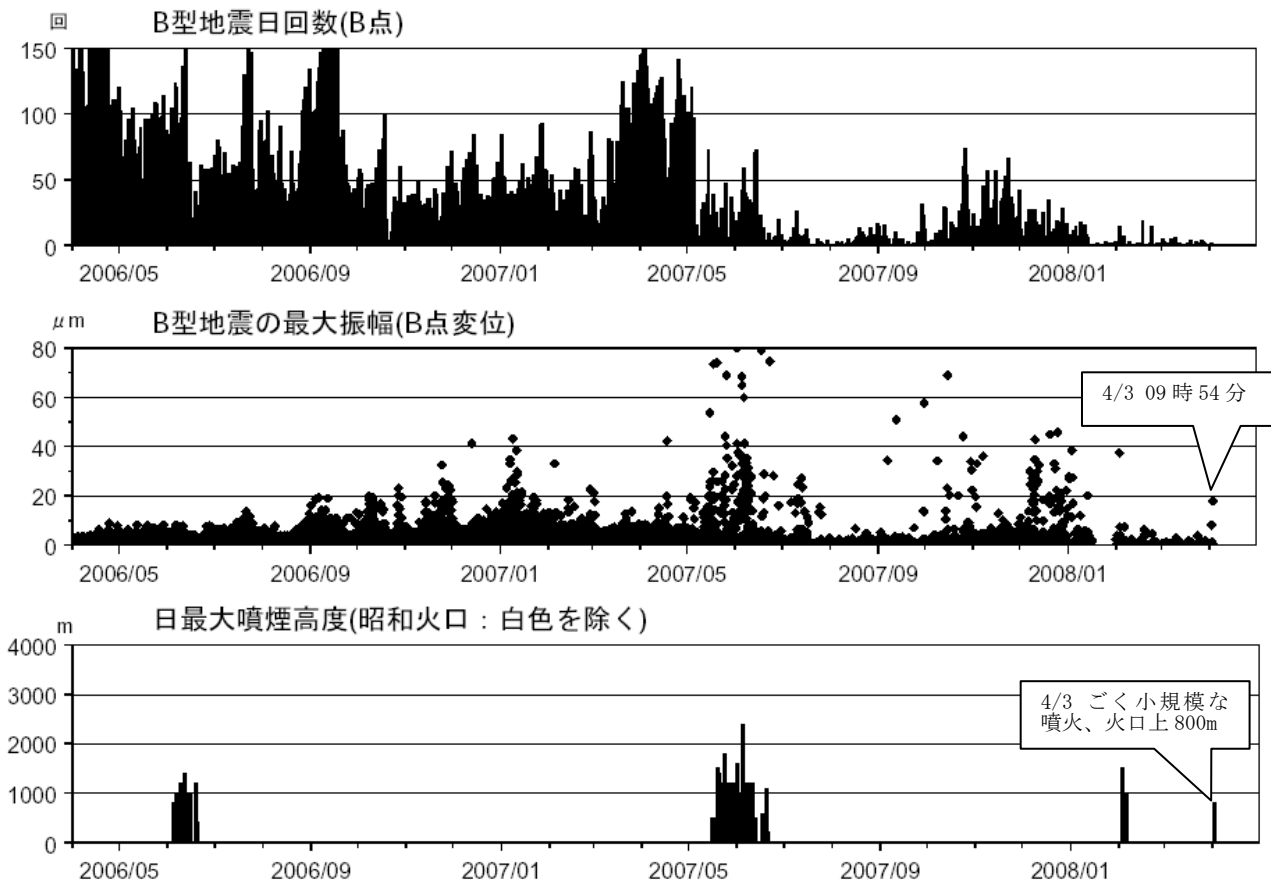


図5 桜島 最近2年間の地震経過図と昭和火口の噴煙経過図(2006年4月~2008年4月3日)
・火山性地震は少ない状態で経過しました。また、3日09時54分に振幅の大きなB型地震が発生しました。